

宇治茶、お茶文化の継承への取組



37 茶壺口切の儀
(興聖寺本堂)
宇治市宇治山田



八十八夜頃に摘まれた新茶を入れて封をして、仏前に供えられていた茶壺の口を切り、石臼で抹茶に仕上げ、「名水汲み上げの儀」で汲み上げられた宇治川の清水を使ったお湯でお茶を点て、茶祖に献茶します。



38 茶筌塚供養の儀
(興聖寺山門前)
宇治市宇治山田



「茶壺口切(ちやつぱくちきり)の儀」の後、興聖寺山門前の茶筌塚で、使い古した茶筌の供養法要が営まれ、「宇治茶まつり」は終了します。



40 京都府茶業研究所付属茶園
宇治市白川中ノ園

大正3年(1914)開設の茶樹栽培試験用地を前身に、京都府が大正14年(1925)設置。製茶機械及び生産技術の開発から出発、昭和14年(1939)からは在来茶園の原樹から20の優良系統を選抜し、開発した「無かん水挿し木育苗法」とともに、生産農家に広め、良品種・多収穫の生産向上に貢献。現在も付属茶園内に当該優良系統樹を「遺伝資源園・採種園(さいしゅえん)」として保存、活用しています。



39 京都府立木津高等学校
付属茶園、製茶工場
木津川市木津内田山

明治34年(1901)、茶業人材育成のための相楽郡立農学校として開校。1922年に京都府移管、1948年には新制高校に。この間、一貫して宇治茶の生産、製茶の後継者教育を行ってきており、現在も我が国唯一の茶業教育を行う高等学校として続きます。



33 宇治神社
宇治市宇治山田



異母兄の仁徳天皇に皇位を譲るため自害したといわれる菟道稚郎子命(うじのわきいらつこのみこと)が主祭神。「宇治茶まつり」では、宇治神社の宮司が、宇治橋三の間で「名水汲み上げの儀」を奉仕します。境内には江戸時代中期の女流俳人・秋色(しゅうしき)の「献上の茶を摘む 老の力かな」の句碑があります。



35 宇治茶手もみ製茶技術
宇治市宇治折居



手もみ製法は、1738年に宇治田原町の茶農だった永谷宗円が発案したもので、従来の茶に比べ色、香り、味ともに優良だったため全国に広まり、今日の宇治茶手もみ製法に発展しました。その貴重な技は宇治市の無形文化財として宇治茶製法技術保存協会によって保存され受け継がれています。2001年には「京都府宇治茶製法手もみ技術保存会連絡会議」が結成され、「宇治茶手もみ製茶技術」の伝承・保存活動はさらに飛躍しました。2009年、こうした活動内容が京都府教育委員会から認められ、京都府指定無形民俗文化財に指定されました。



34 宇治上神社
宇治市宇治山田



宇治川の東岸の大吉山(もしくは仏徳山)の山裾には、神社建築としては日本最古(平安時代後期)の本殿(国宝)を有する宇治上神社が鎮座しています。世界文化遺産「古都京都の文化財」にも登録され、古くは隣接する「宇治神社」と二社一体の存在でした。境内には「桐原水くきりはらすい」と称される湧水があり、唯一現存する「宇治七名水」です。

豊臣秀吉が宇治川の水を汲んで茶会を開いたという故事に倣って、宇治橋「三の間」からシュロ縄につるした釣瓶(つるべ)で宇治川の清水を汲み上げ、竹筒に移し、当時を思わせるような衣装に身をつつんだ行列により、献茶の行われる右岸の興聖寺に大切に運ばれます。



36 名水汲み上げの儀
(宇治橋三の間)
宇治市



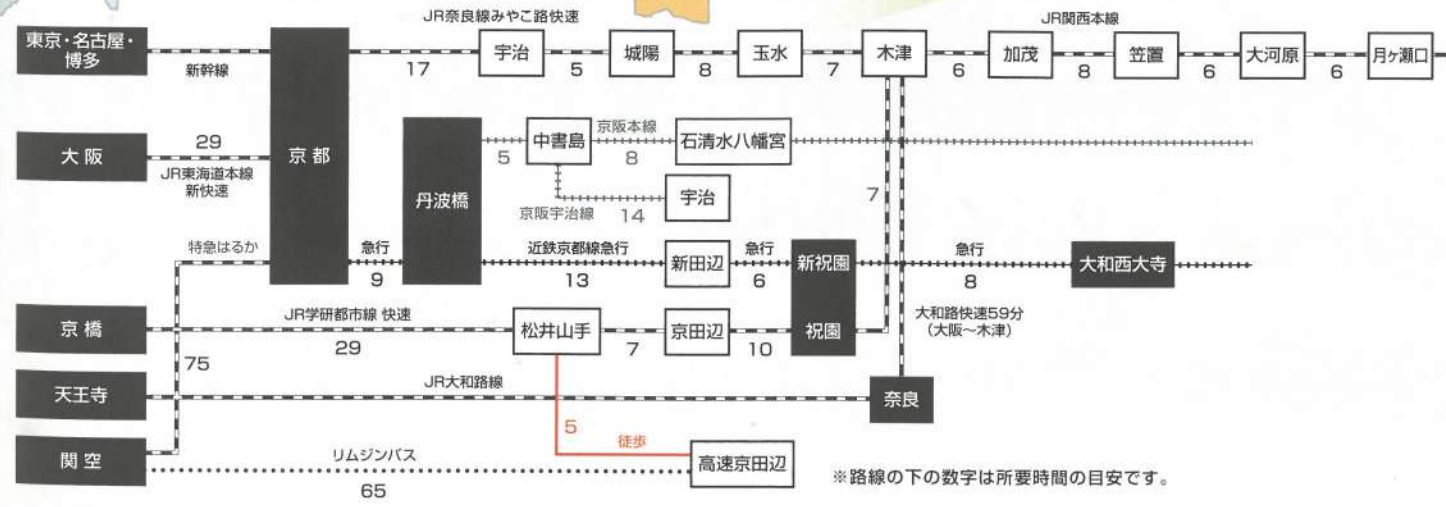
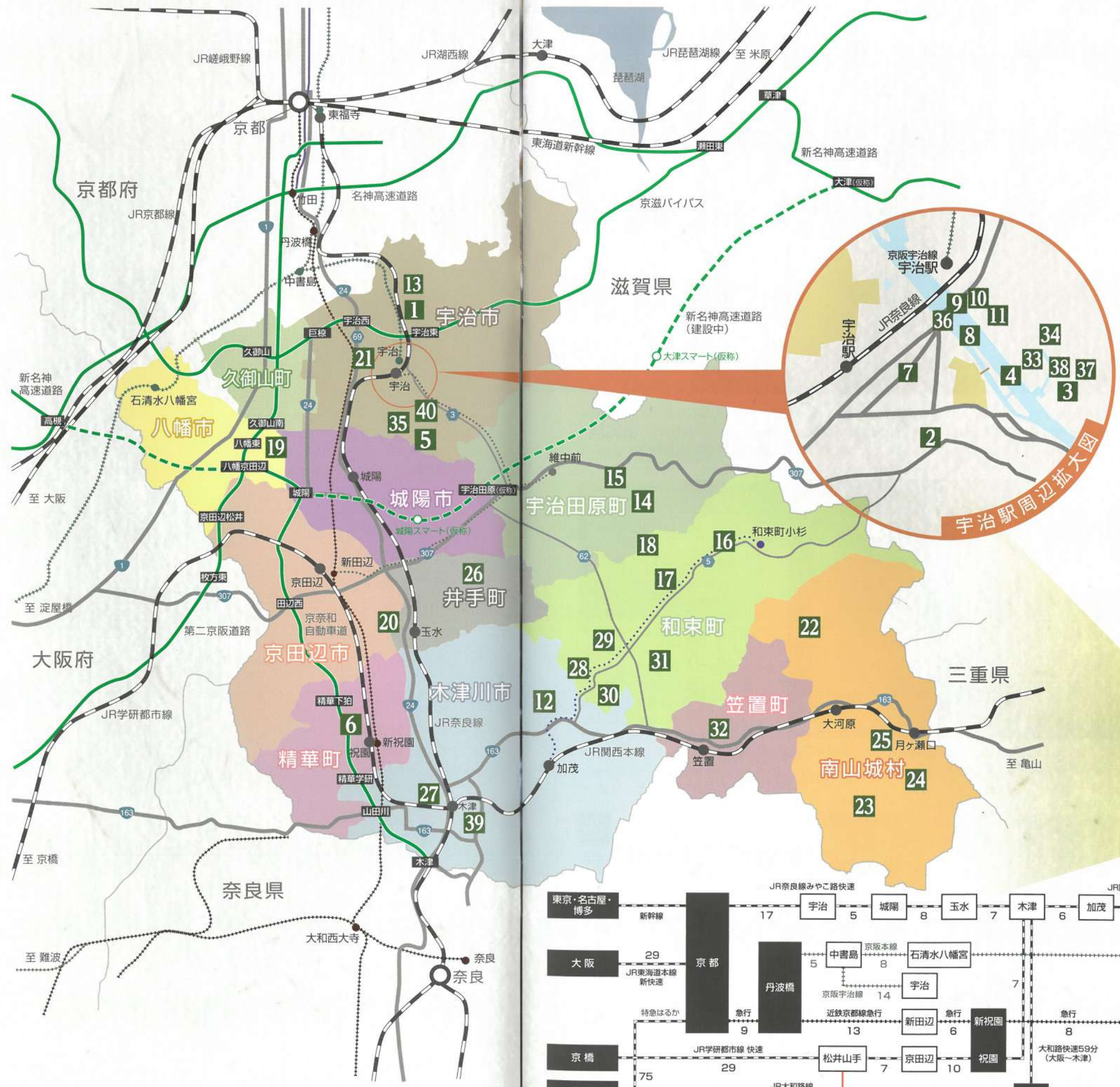
構成文化財マップ

お茶の京都エリア

- 新幹線
- JR線
- 京阪電車
- 近鉄電車
- 京都市営地下鉄
- 高速道路
- 国道・府道
- 京都京阪バス
- 奈良交通バス
- リムジンバス
- 徒歩



- 1 駒蹄影園跡碑
- 2 「奥ノ山」茶園
- 3 興聖寺 (37 38)
- 4 茶陶「朝日焼」
- 5 白川地区の茶畑
- 6 稲八妻医師茶園
- 7 中宇治の街並み
- 8 宇治川
- 9 宇治橋 (36)
- 10 通圓茶屋
- 11 橋寺放生院
- 12 海住山寺
- 13 黄檗山萬福寺
- 14 永谷宗円生家
- 15 湯屋谷の茶畑、茶農家、茶問屋の街並み
- 16 湯船の茶畑
- 17 原山の茶畑
- 18 鷲峰山 金胎寺
- 19 流れ橋と両岸上津屋・浜台の「浜茶」
- 20 飯岡の茶畑
- 21 小倉地区の茶畑
- 22 童仙房の茶畑
- 23 高尾の茶畑
- 24 田山の茶畑
- 25 今山の茶畑
- 26 多賀の「森の茶園」
- 27 上狛茶問屋街
- 28 石寺の茶畑
- 29 白栖の茶畑
- 30 撰原の茶畑
- 31 釜塚の茶畑
- 32 笠置有市の茶畑・索道台跡
- 33 宇治神社
- 34 宇治上神社
- 35 宇治茶手もみ製茶技術
- 36 名水汲み上げの儀 (宇治橋三の間)
- 37 茶壺口切の儀 (興聖寺本堂)
- 38 茶笏塚供養の儀 (興聖寺山門前)
- 39 京都府立木津高等学校附属茶園、製茶工場
- 40 京都府茶業研究所附属茶園



※路線の下は所要時間の目安です。